

巻頭言

策二巻目の会報を発刊する事がお蔭様で出来ました。今後ますます巻を重ねる事により私達お互いの理解を深め、それぞれの研鑽の発表も容易になる事と思います。

思い出しますとこの約20年間に所謂「必死」であった疾病が今日のように6万人を越え又その内の大多数の方々は社会復帰されている様な環境になった事は一口に云えば吾々仲間の皆様の努力が全てとは云えぬまでも極めて大であったと考えます。今後も全国透析関係医の皆様が一致して適切な対策（透析、移植等）を考える事が大きな課題と思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。

日本透析医会

副会長 太田 裕 祥